

Gender Equality

今とこれからの輝いて生きる

「挑戦してみる気持ちが大切」 オゴオリ☆農ガールズにインタビュー

小郡市には、輝いている魅力的な女性がたくさんいます。今回は、女性農業者の会「オゴオリ☆農ガールズ」の皆さんに話を伺いました。

「オゴオリ☆農ガールズ」

令和元年の夏、市内女性農家のグループとして、5人で設立。昨年、七夕の里にちなんだ特産品を作ろうと、メンバーの養蜂家と米農家が連携して「恋する甘酒」を発売し、話題になりました。



Q オゴオリ☆農ガールズとはどんな団体ですか？

若手の女性農業者の横のつながりをつくり、楽しみながら活動したいと、今のメンバーが集まりました。農ガールズの目標は、特産品のプロデュースだけではありません。活動から生まれる新たな人との出会いやつながり、交流にこそ価値があると信じ活動しています。

Q グループの活動で良かったことは？

女性視点の商品開発のアイデアがたくさん出ることです。また、女性同士であり農業者であるという共通した立場のメンバーなので、仕事だけでなく生活面でもお互いに共感できる場面が多く活動しやすいです。

Q 今、一番力を入れていることは？

開発した商品(写真右)を、小郡市のふるさと納税の返礼品にしたいと考えています。その取組の中で、「オゴオリ☆農ガールズ」が頑張っていることを多くの人に知ってもらい、例えば、帰郷した農業に縁のある女性がそれをきっかけに小郡で農業を継ぐというようなことがあると、小郡市や農業全体の発展にもつながるのではないのでしょうか。



農ガールズアソートセット

Q これから活動する女性団体にアドバイスを

私たちがめざす活動は、周りを巻き込んで少しずつ大きくなることです。それは、経営していく自信や、利益を生み出す喜びにもつながります。やってみよう、挑戦してみようという気持ちをもつことが大切だと思います。

☎総務広報課男女共同参画推進室 ☎72-2111

おごおり

配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか？ひとりで悩まずに相談してください。

女性ホットライン ☎092-513-7337

月～金曜日/午前10時～午後5時(祝日、12月29日～1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに、専門の相談員が対応します。

